様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

459　　令和７年６月１０日現在

①	ふりがな 氏名	すずき　あつし 鈴木　　淳
④ 所属先	所属先名称	かさなりデザイン合同会社
	役職名	代表社員
⑥ 専門分野 ※該当に✓を記入		☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☑ その他（地域づくり、関係人口創出など　）
⑦ 対象鳥獣 ※該当に✓を記入		☑ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☑ ハクビシン　☑ アライグマ　☑ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　）
⑧ 対応可能地域 ※該当に✓を記入		☐ 全国　☐ 北海道　☑ 東北　☐ 関東　☑ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（　）
⑨ 免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入		☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 H 25 年 、 わな： H 22 年 ） ☐ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☑ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☐ 鳥獣管理士（　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（　）

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

459　　令和７年６月１０日現在

⑫活動実績	
活動期間	①令和元年４月～現在　②令和５年４月～現在
地域	①宮城県色麻町　②福島県国見町
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☑ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☑ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☑ ハクビシン　☐ アライグマ　☑ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　）
活動の内容	各町の鳥獣被害対策アドバイザーとして、侵入防止柵や捕獲の技術指導、環境整備や集落の合意形成、人材育成など、現場での指導や町との中長期的な計画策定に取り組んでいる。色麻町有害鳥獣対策協議会は令和３年度に鳥獣対策優良活動表彰の農村振興局長賞（団体）を受賞。色麻町内にある加美農業高校では、箱わなや囲いわなの製作、環境整備や侵入防止柵の維持管理などの地域連携活動などに同行、助言指導しており、AI技術などを用いた活動が「アグリテック甲子園2023」で最優秀賞とテクノロジー賞を受賞。令和７年度からは、マイスター・ハイスクール普及促進事業（文部科学省）で同校のコーディネーターを務めている。

⑫活動実績	
活動期間	①令和５年５月～現在　①令和５年６月～現在　②令和５年６月～令和６年１１月　③令和５年８月～現在
地域	①福島県二本松市　②山形県鶴岡市　③山形県村山市　④福島県南相馬市
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☑ 侵入防止技術　☑ 周辺環境整備　☑ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（　）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☐ シカ　☑ イノシシ　☑ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☑ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　）
活動の内容	集落ぐるみの対策として、研修会や集落点検、マップ作成、合意形成、追い払い、侵入防止柵設置のための住民との検討を行い、それぞれの集落に合わせた鳥獣被害対策の体制構築ができるよう助言指導した。